REGIONAL ECONOMY

東日本

レーザー洗浄装置高速化

東成エレクトロビーム

インライン組み込み容易に

【立川】東成エレクトロビーム（東京都瑞穂町、上野邦香社長）は、同社従来品比で処理速度を5倍に高速化したレーザー洗浄装置「イレーザー TEFⅣ-300」を26日に発売する。同装置は金属にファイバーレーザーを照射し、表面に付いた樹脂や錆、酸化膜などを除去できる。高速化したことで産業用ロボットと組み合わせ、インラインでより使いやすくした。価格は個別見積もり。2022年度に10台の販売を目指す。

最大出力は300ワット。本体サイズは幅560ミリ×奥行き680ミリ×高さ1070ミリ。作業者がブラストやブラシなどで行っていた部品洗浄を代替し、人的負荷・コストも低減に寄与する。ドライ洗浄のため薬液を使わず、環境に優しい点も訴求していく。イレーザーシリーズは東成エレクトロビームが扱う出力38ワット、同70ワットと子会社の東成イービー東北（福島県郡山市）が扱う同110ワットの3機種をラインアップ。従来機はハンディタイプとして使われるケースが多かったが、インラインでの使用ニーズが高まり高速化に対応した。

新製品は同社の羽村工場（同羽村市）に実機を設置しており、テスト加工が可能。また、状況に応じ実機を持っての出張テスト加工にも対応する。同シリーズは14年の発売以来、合わせて75台超の販売実績がある。

レーザー洗浄装置を高速化しインラインで使いやすくした（イレーザー TEFⅣ-300）

低温物流対応倉庫 新設

長岡運送が群馬・伊勢崎に 多用途・多機能化

【前橋】長岡運送（群馬県伊勢崎市、長岡治社長）は、群馬県伊勢崎市にコールドチェーン（低温物流）に対応した多用途・多機能倉庫を新設し、稼働を始めた。食品業界の需要開拓が目的。コンテナ輸送から流通加工、保管、配送まで、ワンストップでサービスを提供する。県外を中心に新規顧客のニーズを取り込み、売り上げ増加につなげる。約9000平方メートルの土地を新たに取得し、冷凍や冷蔵など四つの温度帯の倉庫と流通加工場（写真）を設置した。土地と建屋を合わせた投資額は約11億円。倉庫の屋根には太陽光パネルを設置しており、電力自給率の向上と二酸化炭素（CO_2）排出の抑制を目指す。

同社は自動車部品や食品の配送が主力業務。東京から100キロメートル圏内で関越自動車道などの高速道路にアクセスしやすい立地環境の良さや、保管や流通加工にも対応できる新倉庫の利点を訴求し、県外の食品業界の顧客開拓を進めていく。

横浜港発展へ連携協定

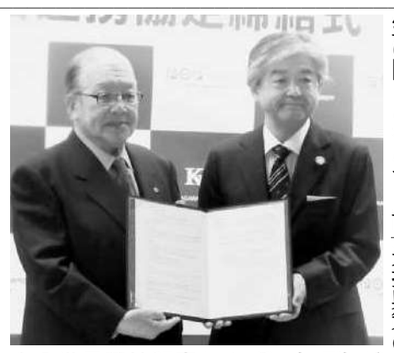
神奈川大・横浜港振興協会 観光企画立案など

【横浜】神奈川大学と横浜港振興協会（藤木幸夫会長＝藤木企業会長）は、横浜港と港町・横浜のさらなる発展に向けた教育・研究で包括連携協定を結んだ。港湾・海洋関係の仕事に携わる次世代の人材育成やにぎわいの創出、港湾施設を生かした観光振興、まちづくりなどで実業を通じた体験型の学習に協力して取り組み、港や港町の持続的な発展に貢献する狙いだ。

先週末の協定締結式で神奈川大の兼子良夫学長は「現実社会の課題と向き合うため研究室に閉じこもらず、協会の力を借りて学びと研究の場を広げたい」と述べた。

振興協会の藤木会長も「フィールドを歩けば実像が見えてくる」と期待感を示した。

両者はインターンシップ（就業体験）のほか港湾関係の行事の共同開催、学生による観光振興策の企画立案など課題解決型の学習で力を合わせる。


包括連携協定書への調印を終えた神奈川大の兼子良夫学長（右）と横浜港振興協会の藤木幸夫会長

藤沢でロボ実証

神奈川県 NEC・セコム開発

【横浜】神奈川県は、NECが開発した生活支援ロボットと、セコムが開発した警備ロボットの実証実験を、同県藤沢市内で24日から順次行う。国の総合特区制度を活用して進めている「さがみロボット産業特区」の取り組みの一環。いずれも運用上の課題を検証して実用化につなげる。NECの実証実験は要支援・要介護者が自宅で行う個別機能訓練を支援するICT（情報通信技術）システムが対象。24日から2月28日まで、同市内の高齢者宅で実施する。要支援・要介護者の基本情報や、歩行の様子を撮影した動画を理学療法士らと共有し、個々人の状態に合った運動プログラムを作成してもらう。動画などをオンラインでやりとりする際の課題を調べる。

セコムの実証実験では自律走行で巡回する警備ロボットと、バーチャル（仮想）映像の警備員が人工知能（AI）を活用して警戒に当たる警備システムを使う。25、26の両日に同市役所本庁舎で自走式ロボットとバーチャル警備員を運用し、それぞれの性能や併用時の効果を調べる。

千葉港の現状・活用事例紹介

千葉県・千葉港振興協会がセミ

【千葉】千葉県と千葉港振興協会は、オンラインで「2021年度千葉港ポートセミナー」を開いた。運送会社や船会社などから約180人が参加。セミナーでは千葉県県土整備部の大村晃港湾課長が千葉港の現状と港湾整備の展望を解説（写真）。大村課長は「千葉港は港湾区域面積が約2万4800ヘクタールに及ぶ日本一広い港」と述べ、「アクセス性に優れ、効率的な輸送が実現できる千葉港の利用を是非お願いしたい」と呼びかけた。

また、流通経済大学流通情報学部長の矢野裕児教授が講演し、「脱炭素やデジタル変革（DX）など、今まさにロジスティクス改革が求められている」とした。このほか、シーケー・マリタイム（東京都中央区）の担当者が自社の事業について、富士フイルムホールディングスの担当者が千葉港の活用事例について講演した。

溶接士技能17人競う

ボイラ・クレーン安全協会

ボイラ・クレーン安全協会（東京都江東区、前田豊会長）は、「第59回ボイラー溶接士溶接技能競技全国大会＝写真」（日刊工業新聞社協賛）を産学協同センター（東京都江東区）で開いた。

競技は交流アーク溶接で「下向V形突合せ片側溶接」の裏当て金あり、同なしの2種目。24―69歳の17人が全国から参加し、日頃磨いた技術を競った。前田会長は「昨年はコロナ禍のため開催できなかった。溶接技術も重要だが、安全衛生・意識の高さも採点の基準となっている。参加者の健闘を期待している」と述べた。

審査は外観、X線、曲げ、競技時間のほかに、競技中の不安全行為なども対象になる。結果は3月2日に発表する予定。優勝者には厚生労働大臣賞や日刊工業新聞社社長賞などが贈られる。

2年ぶり全国大会

川越のふるさと納税返礼品に

長谷川製作所 障がい者自立支援施設と協業

長谷川製作所（埼玉県川越市、長谷川正社長）が、同じ川越市内の障がい者自立支援施設と商品化した空間照明「スウィートライト」が話題になっている。木工品の製造にたけた川越いもの子作業所から、天然のブナを削り出した台座の供給を受け、自社の照明器具と一体化した。市のふるさと納税の返礼品にも採用され、「自社のウェブサイトでも売っているが、返礼品経由の方が圧倒的に多い」（長谷川社長）そうだ。

川越いもの子作業所はオモチャや小物入れなど手作りの木工品を多数手がけており、「当社の技術を使い、お金をかけずに新製品を何か出せないかという社員の発想で商品化した」（同）という。

長谷川製作所は国連の14ワット以下のLEDランプ用で白熱電球は使用不可。台座のサイズは高さ42ミリ×横140ミリ×縦140ミリ、シェードの寸法は高さ183ミリ×横200ミリ×縦200ミリで重さは約1・1キログラム。消費税込みの価格は748円。

長谷川製作所は国連の持続可能な開発目標（SDGs）達成へ向けた取り組みにも注力。全社員に個別目標を設定させるなど積極的に活動を展開している。障がい者自立支援施設との協業もその一環。今後も取引拡大な開発・設計を25年間手がける。

▽…強みである独自開発の還流式飽和槽の原理を考えたのが古市氏。技術に惚れ込んで自社に招くため、「古市氏に『心中する』まで言って口説いた」と振り返る。

▽…「やったことがないことに挑むのが好き」。最近は市場が拡大する半導体分野でも引き合いが増えており、空の上の古市氏も喜んでいるに違いない。

温かみのある色味でブナの木の台座ともマッチさせた

ラウンジ

小倉さん

今の姿見せたい

市昭夫技術顧問に今の姿を見せたい」としみじみ話すのは、マイクロ・イクイップメント（東京都新宿区）社長の小倉正大さん。同社は湿度制御装置などの

FLASH フラッシュ

◆山形県企業オンライン商談

山形県企業振興公社（山形市）2月9日に「2022山形県取引商談会」をオンラインで開く。製造業者の受発注取引拡大が目的で20回目。コロナ禍で営業活動が制約される中、オンラインツールを活用して受発注新規取引を見込み積極的な売り込みを期待する。県内外から発注企業89社、県内中心に受注企業163社が参加する。初参加の発注企業は32社。事務局は「コロナ禍で商談でもオンラインに慣れた企業が増えたことが一因」としている。

◆3月22日に誘致セミ

千葉市 3月22日14時から「千葉市企業立地セミナー」をコングレスクエア日本橋（東京都中央区）で開く。神谷俊一市長が同市に立地するメリットと企業支援施策について講演するほか、神谷市長が司会者となり「ウィズコロナ・ポストコロナ社会における千葉市の優位性」と題するパネルディスカッションを行う。対象は同市に立地している企業と立地を検討する企業、不動産会社、ゼネコン、金融機関。定員80人。参加無料。3月7日までに事前申し込みが必要。オンラインでも開催する。問い合わせは企業立地課（043・245・5276）へ。

◆脱炭素化の実践例紹介

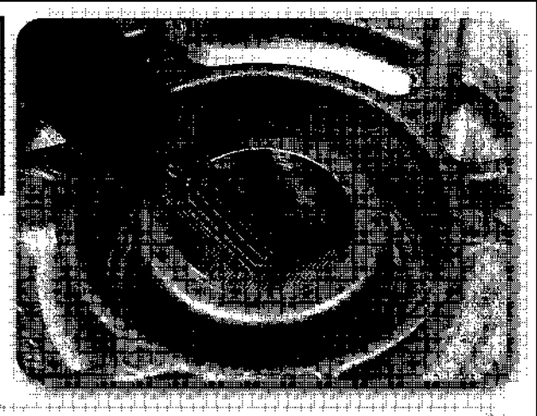
川崎市 28日15時から「脱炭素アクションみぞのくち チャレンジ行動変容セミナー」を、オンラインで開く。日本や豪州、ドイツの先進的な実践例を「食」「緑化」「子ども」などの切り口で紹介し、まちぐるみで楽しみながら、脱炭素化に取り組む方法を考える。同市が脱炭素化の先進モデル地区に定めた溝口周辺地域の住民らによる活動にも今後生かしてもらう。参加は無料で人数制限もない。希望者は専用サイトかファクスで26日までに申し込む。問い合わせは同市環境局地球環境推進室（044・200・3871）へ。

◆人材採用・育成の秘訣

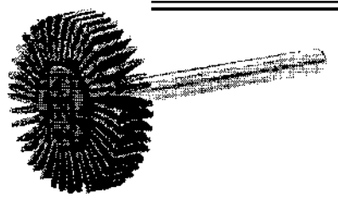
日本政策金融公庫さいたま支店など 2月2日の15―17時にオンラインセミナー「定着率がグンと上がる！人材採用・育成の秘訣」を開く。リクルートの宇佐川邦子ジョブズリサーチセンター長が理・美容業、飲食業、宿泊業などの現状をさまざまな視点で分析し、人材不足対策や復職支援の事例を紹介。埼玉県産業振興公社や日本公庫などによる取り組みも紹介する。参加無料で先着30人まで。申し込み締め切りは27日。問い合わせは日本公庫さいたま支店（0570・017202）へ。

ICHIGUCHI
小径軸付シリーズ

凹凸、曲面、細部の研磨に最適なマイクロフラップにセラミック素材のセラミックフラップホイルが新たに加わり、更に豊富なバリエーションであらゆる用途にお応えします

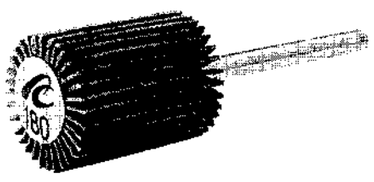


セラミックフラップホイル



鋭い切れ味を長時間キープできるセラミック砥粒を使用
高硬度、耐熱性、耐摩耗性に優れたセラミック砥粒とフラップホイルを組み合わせ、鋭い切れ味と抜群の食いつきを実現

マイクロフラップ



精密な成型により製作されたマイクロフラップは高速回転下でも芯ぶれせず、細い隙間をスムーズに作業する事が可能です
細部・狭部の研磨や金型などデリケートなワークの研磨、エッジ・穴回りの丸めにも最適です

株式会社 イチグチ
http://www.ichiguchi.co.jp
管理本部・光台事業所 / 京都府相楽郡精華町光台3-7-2
TEL.0774-94-9021(代)
FAX.0774-94-9026
営業／大阪 名古屋 東京 九州
JAB CM001 JSA QMS JISQ 9001 JSAQ967